

第 89 回 杜の都の環境をつくる審議会 議事概要

日 時：令和 3 年 5 月 17 日（月）10 時 00 分～11 時 30 分

会 場：オンワード檜山仙台ビル 10 階ホール

出席委員：中静会長，舟引副会長，板橋委員，内海委員，遠藤委員，小貫委員，小嶋委員，
近藤委員，平塚委員，米倉委員，渡邊委員（計 11 名）

欠席委員：池邊委員，佐藤委員，福岡委員（計 3 名）

事務局：建設局長，建設局理事，百年の杜推進部長，百年の杜推進課長，同課主幹兼企
画調整係長，同課緑化推進係長，同課緑地保全係長，全国都市緑化フェア推進
室長，公園課長，同課公園整備担当課長，同課公園マネジメント推進係長，同
課主幹兼建設係長，同課青葉山公園整備室長（計 13 名）

司 会：百年の杜推進課長

1. 開会

○事務局（熊谷課長：百年の杜推進課）

—開会—

—議事録署名人の氏名，傍聴ルールの説明—

・議事録署名人：中静会長，遠藤委員

2. 議事

(1) 審議事項

① 仙台市みどりの基本計画答申案について

○中静会長

- ・本日は審議事項が 1 件「仙台市みどりの基本計画の答申案について」のみであるが，
答申に向けて最後の議論の場であり，答申は来週を予定している。最初に部会長を務
めた舟引副会長から報告をしてもらい，その後に事務局から詳細の説明をお願いした
い。

○舟引副会長

- ・令和 2 年 1 月 23 日に開催した第 1 回検討部会以降，先月 26 日までに合計 7 回の部会
を開催して議論を進め，パブリックコメントの意見を踏まえた上で，答申案をまとめ
た。
- ・前回のみどりの基本計画は東日本大震災からの復旧・復興が大きなテーマだった。震
災から 10 年が経過して計画を改定するにあたり，これからの仙台がどう進むべきか，
みどりの基本計画の上位計画である仙台市基本計画では，“The Greenest City SENDAI”
が基本理念に掲げられ，自然と都市機能が調和した都市個性の深化やかけ合わせを手

段として、世界から選ばれるまちを目指すとしている。次のみどりの基本計画では、それを実現するためにグリーンインフラという新しい視点で取組みを進めていくこととした。

- ・グリーンインフラとは、みどりが持つ防災・減災やにぎわい創出などの機能をまちづくりに生かすという考え方であり、既に前回のみどりの基本計画でも生態系を活用した防災・減災という考え方で津波の減衰や被害軽減に寄与する海岸防災林の再整備など、実践されているものがある。
- ・次期計画では、防災・減災機能を拡充する取組みとして、激甚化している雨水災害にみどりによる対策を講じていくほか、国内でも高い評価を確立している街路樹をより高いレベルに磨き上げていくことによって、都市ブランドとしてのみどりの強化を図ることなどにより、安全・安心でかつ住みたい、訪れたいと思われる新たな杜の都の実現を目指していくこととしている。
- ・具体的には5つの基本方針と12の施策の柱、基本方針ごとに2つの重点的な取組みを設定しており、これまで取組んできた施策を継続することを基本としつつ、グリーンインフラの視点に基づいて新たに取組む事業・取組みを盛り込んでいる。
- ・新たな取組みの主なものとしては、①市街地における雨水対策としての公園や道路における透水性舗装や雨庭などの整備、②建築物等緑化ガイドラインの運用による、都心部の建築物等での質の高い緑化の誘導、③杜の都の代名詞である街路樹について、緑化重点地区内での新規整備や総合的な管理計画の作成・運用、④杜の都のみどりの可能性の発信や、みどりと花に囲まれたライフスタイルの創出等を目指す、全国都市緑化仙台フェアの開催、⑤みどりによる人づくりの一環として、子供の遊び学び環境の充実のためのプレーパークの実施箇所の増加等の拡充、などを盛り込んでいる。さらに、緑化フェアの会場となる青葉山公園追廻地区の整備も位置づけている。
- ・要点は以上だが、中間案からの変更内容や市民意見の概要も含めて、全体像は事務局から説明をお願いしたい。

○事務局（水嶋主幹：百年の杜推進課主幹兼企画調整係長）

—資料 1-2, 1-2, 1-3, 1-4 について説明—

○小嶋委員

- ・27 ページの「5) 街路樹」について、下から2つ目の段落で青葉通と定禅寺通のケヤキに関する記述があるが、これらのケヤキがどこから持ち込まれ、植えられたのか触れても良いのではないかと。
- ・同じ段落で「樹勢不良を生じた樹木の伐採が多くなり」とあるが、伐採対象として通行の妨げになる樹木も含まれているのであれば、通行の妨げということも記述しても良いのではないかと。
- ・42 ページの奥山のイラストについて、奥山に対して、杉の植林地はイメージしないため、説明文の「木材供給などを実現します」という記述も含めて違和感を覚えた。203

ページの「里山」の用語解説では、杉の植林地への言及もあり、奥山として描かれたイラストは、里山の様子のように見えた。

- ・次の計画では、みどりによる雨水浸透に関する取組みを充実させていく内容としているが、仙台では地滑りなどの土砂災害が起きることがあり、雨水の浸透は、結果的に土砂災害を誘発することになり得ないかということが気になった。場所によっては浸透させないほうが良い場所もあるはずなので、注意して考えていかなければいけないと思う。
- ・道路整備においても同様であり、災害を誘発する恐れがある場所では、透水性舗装以外の整備でも良いと思う。

○事務局（水嶋主幹）

- ・雨水浸透に関しては、委員指摘のとおり、浸透させないほうが良い場所もあるため、メリハリをつけて取組まなければならない。
- ・定禅寺通と青葉通のケヤキであるが、どこから持ってきた樹木であるかを追記したほうが良いということか。

○事務局（佐々木部長：百年の杜推進部）

- ・青葉通のケヤキについては、植栽したケヤキの全てではないが、当時国有地であった台原の被圧木を移植している。その後は、市場に流通しているケヤキも植えられている。
- ・定禅寺通のケヤキについては、昭和33年に市場で流通しているケヤキを購入して植えたこと記憶している。
- ・青葉通のケヤキについて、どこから持ってきたかについての記述が可能かどうか検討したい。

○事務局（水嶋主幹）

- ・奥山として描いたイラストについて、奥山は対象とするエリアが広いこともあり、このイラストで全ての特徴を捉えきれていないかもしれないが、本計画が対象とするみどりも踏まえ、奥山としての将来イメージを描いた。

○中静会長

- ・確かに奥山というと、植林地はあまり多くないかもしれないが、現案のままでいきたいということか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・そのとおりである。

○中静会長

- ・定禅寺通や青葉通のケヤキをどこから持ってきたかの記述は入れづらいかとは思いますが、伐採木が増えている理由として、通行の妨げについては記述したほうが良いだろうか。また、雨庭も整備する場所を選ぶべきという記述を入れるほうが良いだろうか。

○事務局（佐々木部長）

- ・雨庭の整備については現案のままとしたいが、委員が言うとおりに、整備する場所によっては、水が集まってきて被害が及ぶ心配はないかという意見だと思うので、災害に注意しながらということで何か一言入れられる表現があれば検討したい。
- ・通行の妨げを理由とした街路樹の伐採は、実際にそのような事例もあるが、現案のままとさせてほしい。

○中静会長

- ・小嵐委員いかがか。

○小嵐委員

- ・構わない。通行の妨げを理由とした街路樹伐採の実績は調べないと分からないし、現在の文章でも意味は通じる。

○中静会長

- ・本件に関して、そのほかの委員はいかがか。

○小貫委員

- ・4月の最後の部会で指摘したところを直してもらい、充実した。
- ・124 ページから事業・取組みが具体的に挙げられているが、中間案のパブリックコメントでも具体的な要望など様々な市民意見が寄せられており、今後作成するアクションプランに盛り込むことも含めて、実現に向けて検討してほしい。
- ・現行のみどりの基本計画 108 ページに、「郷土樹種の例」が載っているが、今回の計画での掲載はあるのか。郷土樹種をウェブで検索しても具体例があまり出てこないのので、今回の計画にも掲載してもらえると良い。

○事務局（水嶋主幹）

- ・パブリックコメントでの市民意見の反映は、委員が言うように、アクションプランを作成する中で検討したい。
- ・郷土樹種については掲載する。

○小貫委員

- ・アクションプランは審議会でも議論する場を設けてほしい。

○中静会長

- ・郷土樹種は再度確認して、掲載されていないようであれば、掲載をお願いしたい。

○遠藤委員

- ・166 ページの推進体制の各主体の基本的な考え方について、いくつか指摘したい。
- ・1つ目は「市民」の考え方について、最初に書かれているのが「自主的な学習」だが、読む印象として最初が自主的な学習というのはいま一つの印象を受ける。どちらかという、その後ろにある「みどりとふれあいや活動」のほうを前に持ってきて、自主的な学習は後ろのほうに持っていくほうが良い。
- ・2つ目は「市民活動団体」の考え方について、こちらも最初に書くのは「みどりの活

動の活性化」や「市民参画」など、協働を活発化させるというようなことを前に持ってくるほうが良い。また、「みどりの情報提供」とあるが、情報提供だけではなく、積極的な発信についても期待したいため、発信も入れてほしい。

- ・ 3つ目は「事業者」の考え方について、最初が「みどりの社会的責任活動の実施」では、具体的にイメージしにくいと思うため、みどりのまちづくり活動への参画や協働みたいなどころに一步踏み込んで、事業者もみどりの活動に参画したり、社員にみどりの情報提供をしていったりするようなことが読み取れるフレーズを入れてほしい。
- ・ 4つ目は「行政」の考え方について、市民活動団体への支援と、主体となる担い手の育成について言及してほしい。市民活動団体や地域団体、企業がどんどん担い手になってもらう必要がある。
- ・ 中間案のパブリックコメントでもいろいろな提案が寄せられているが、提案した人が主体となって取組んでくれたらいいと思う内容のものもあるため、そのような提案者をうまくコーディネートすることについて、行政の考え方のところに位置づけられると良い。
- ・ 例えば、市民意見で公園を活用したイベントを行うという提案があるが、このような提案は市民局の助成制度が適用できそうなものがあるので、庁内コーディネートを積極的にやるというようなことを入れてほしい。

○中静会長

- ・ P.166 の各主体の基本的な考え方の言葉の順序の入れ替えは委員の指摘のとおりだと思うし、すぐに対応できる内容なので検討してほしい。
- ・ 事業者の社会的責任活動やコーディネートについては、事務局いかがか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・ 委員指摘のとおり修正したい。

○中静会長

- ・ 修正の具体的な文言については、私と舟引副会長、事務局の相談で決めるということで良いか。

○遠藤委員

- ・ 了解した。

○中静会長

- ・ 他にいかがか。

○板橋委員

- ・ 66 ページの図-26 の見出しについて、「生態系を育むみどりの保全の取組み図」としているが、同図には「ふるさとの杜再生プロジェクト」等も表記されているので、保全だけではなく、保全・創出という文言にしてはいかがか。
- ・ 170 ページの5つの基本方針ごとの指標について、方針5の「公園施設改修件数」では10年間で延べ1,200公園となっているが、仙台市の公園の何割に該当するのか。ま

た、改修を必要とする公園のうちの何割に該当するのか。

- ・同じく方針2の「都心部のみどりの質の向上」について、（仙台都心部緑化重点地区における）①緑被率を現状の14.2%に対して目標値が14.3%、②平均緑視率も現状の31%に対して目標値が33%と、あまり変わらない印象を受ける。重点的に取り組むということであるので、目標値をもう少し高く設定しても良いのではないか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・66ページの図の見出しは、委員の言うとおりであり、修正したい。
- ・方針5の指標「公園施設改修件数」に関連した質問について、現在の本市の公園数は約1,800公園であるが、その中で老朽化した施設が存在する公園が数多くあり、改修計画を立てようとしているところである。改修を要する施設数が全体でどのくらいになるかはまだ把握できていない。
- ・当該計画の中で予算などを考慮すると、年間120公園程で施設の改修が行える見通しがたち、10年間で延べ1,200公園という目標値を設定した。
- ・方針2の指標「都心部のみどりの質の向上」の目標値については、パーセンテージで示しているため、委員の言うとおりで、基準値と比べると違いがそれほどないように見えてしまうのだと思う。
- ・①の緑被率の向上は緑化面積を増やすということであり、1%向上させるには相当量の緑化を行わなければならないことを意味する。現状からの0.1%増の目標値を達成した場合、面積換算では約3haも緑化面積が増えることになる。都心部において3haの緑化面積の増加は相当な量であると考えている。
- ・②の平均緑視率も同様であり、数字上ではそれほど変化していないと思われるが、緑視率を向上させるには、相当量の街路樹を大きく育てるなどして、少しずつ数値を向上させていくしかない。これまで緑視率は少しずつ数値が向上してきており、そのような経過を踏まえて目標値を検討し、33%が妥当ではないかと考えた。

○中静会長

- ・公園施設改修件数1,200公園については、仙台の公園数が1,800公園であるのであれば、市内の公園の3分の2と括弧書きを入れると分かりやすいかもしれない。
- ・40、41ページの「百年の杜将来イメージ」について、説明文に固有名詞が追記され分かりやすくなったが、イラストにも緑地名など表記すると更に良くなると感じた。

○小貫委員

- ・48、49ページの「百年の杜将来イメージ・『百年の杜』将来像図の重ね図」で緑地名などが表記されている。

○中静会長

- ・了解した。その他にいかがか。

○遠藤委員

- ・193ページの「1人当たりの街区公園面積の政令市比較」について、人口規模などが

から仙台との比較対象にされやすい広島や札幌などの現況値が気になった。修正を求めたものではないが、それらの都市の現況について教えてほしい。

○事務局（水嶋主幹）

- ・手元に資料がなく、今は分からない。

○遠藤委員

- ・了解した。

○中静会長

- ・遠藤委員指摘のグラフの見出しだが、1人当たりの街区公園面積と1箇所当たりの街区公園面積とどちらが正しいのか。

○事務局（水嶋主幹）

- ・1箇所当たりが正しい。修正する。

○中静会長

- ・その他にいかがか。

○小嶋委員

- ・147ページの「仙台都心部緑化重点地区の計画図」について、仙台駅西口の通りは、定禅寺通、広瀬通、青葉通と表記があるが、東口の通りの表記がない。東口の通りには「都心部の『みどりの回廊』」に位置づけられている通りもあるため、宮城野通ぐらいは表記しても良いのではないかと思った。

○事務局（水嶋主幹）

- ・修正する。

○中静会長

- ・その他にいかがか。
- ・本日の審議を踏まえた修正は舟引副会長と私が確認して、了承したものを答申とすることよろしいか。

（委員一同了承）

3. 閉会

○事務局（熊谷課長）

—閉会—